

ウルリッヒ・ベック教授・エリザベート・ベック＝ゲルンスハイム教授 来日記念連続シンポジウムのお知らせ

日本社会学会第83回大会において、ウルリッヒ・ベック教授をお招きしてテーマセッション「日本とアジアにおける多元的近代」を開催しますが、東京と京都でも、ベック教授夫妻をお招きしてシンポジウムを開催いたします。共通テーマは「個人化する日本社会のゆくえ——ベック理論の可能性 (Individualizing Japan and Beyond)」で、東京では社会学理論を中心に、京都では家族と社会保障を中心に、日本社会における個人化の問題を議論する予定です。

#### 【東京シンポジウム】

テーマ：「テーマ再帰的近代化の中の個人と社会——社会理論の現在 (Social Theory in Reflexive Modernization)」

日時：2010年10月31日(日) 12時開場、13時開会、17時終了

場所：一橋大学国立西キャンパス (JR国立駅下車徒歩6分) 兼松講堂

URL: <http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html>

報告者：ウルリッヒ・ベック／三上剛史(神戸大学)／樫村愛子(愛知大学)

参加費：1,000円

会場主催者：一橋大学大学院社会学研究科 大河内泰樹

#### 【京都シンポジウム】

テーマ：「リスクの時代の家族と社会保障——ベック理論との対話 (Family and Social Security in Risk Society)」

日時：2010年11月3日(水・祝) 12時開場、13時開会、17時30分終了

場所：立命館大学朱雀キャンパス (JR・地下鉄二条駅下車徒歩2分) 中川会館4階 大講義室

URL: [http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap\\_suzaku\\_j.html](http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_suzaku_j.html)

報告者：ウルリッヒ・ベック／エリザベート・ベック＝ゲルンスハイム／落合恵美子(京都大学)／武川正吾(東京大学)

参加費：1,000円

会場主催者：立命館大学産業社会学部 景井充

企画・主催：ベック来日シンポジウム実行委員会

協賛：大妻女子大学人間生活文化研究所

お問い合わせ先：

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500 滋賀県立大学人間文化学部

丸山真央研究室気付 ベック来日シンポジウム実行委員会事務局

E-mail: [maruyama.ma@shc.usp.ac.jp](mailto:maruyama.ma@shc.usp.ac.jp)

URL: <https://sites.google.com/site/becksympo/>